

プレゼンテーション概論

(授業概要)

卒業研究発表ならびに就職後に取り組むと予期される各種プレゼンテーションの機会に向け、プレゼンテーションソフトであるマイクロソフトパワーポイントの取り扱いに習熟する。さらに、聴衆であるクラスメイトや教員とのコミュニケーションをとりながら口頭発表に取り組むことで、聴衆の知識レベルや関心に沿ったプレゼンテーションを行うための技術と意識を涵養する。

科	生命科学科	きょういん 教 員	北川・伊藤
コース	ZOO、WLL、SHP	きょういん じつむけいけん 教 員 の 実 務 経 験	○
たいしょうねんじ 対 象 年 次	2	ねんかんたんいじかん 年 間 単 位 時 間	35×2 コマ

もくひょう
目 標

- 1 学期
- プレゼンテーションソフトの扱いに習熟し、指定テーマに沿って発表資料を作成することができる。また、完成した資料をもって口頭発表を実施し、質疑応答を行うことができる
- 2 学期
- 自ら主体性をもって主題を選定し、研究発表や企画発表を想定した時間の範囲でプレゼンテーションを企画・完成させ、口頭で発表することができる

じゅぎょうけいかく
授 業 計 画

- 1 回
- アイスブレイク、卒業研究発表の概要
- 2 回
- プレゼンテーションの企画・構成
- 3 回
- 課題発表_3 分間テーマ発表・フィードバック①
- 4 回
- 課題発表_3 分間テーマ発表・フィードバック②
- 5 回
- 課題発表_3 分間テーマ発表・フィードバック③
- 6 回
- 課題発表_3 分間テーマ発表・フィードバック④
- 7 回
- 課題作成_1 分間アイテム紹介・シナリオ作成
- 8 回
- 課題発表_1 分間アイテム紹介・フィードバック①
- 9 回
- 課題発表_1 分間アイテム紹介・フィードバック②
- 10 回
- 課題発表_1 分間アイテム紹介・フィードバック③
- 11 回
- 期末試験（口頭発表①）
- 12 回
- 期末試験（口頭発表②）
- 13 回
- 期末試験（口頭発表③）
- 14 回
- 期末試験（口頭発表④）
- 15 回
- 期末試験（口頭発表⑤）
- 後期

16回	前期の振り返り・フィードバック
17回	課題作成_テーマ選定、目次作成
18回	課題発表_12分間フリーテーマ・フィードバック①
19回	課題発表_12分間フリーテーマ・フィードバック②
20回	課題発表_12分間フリーテーマ・フィードバック③
21回	課題発表_12分間フリーテーマ・フィードバック④
22回	課題発表_12分間フリーテーマ・フィードバック⑤
23回	課題発表_12分間フリーテーマ・フィードバック⑥
24回	課題発表_12分間フリーテーマ・フィードバック⑦
25回	課題発表_12分間フリーテーマ・フィードバック⑧
26回	課題発表_12分間フリーテーマ・フィードバック⑨
27回	課題発表_12分間フリーテーマ・フィードバック⑩
28回	課題発表_12分間フリーテーマ・フィードバック⑪
29回	期末試験（口頭発表①）
30回	期末試験（口頭発表②）
31回	期末試験（口頭発表③）
32回	期末試験（口頭発表④）
33回	期末試験（口頭発表⑤）
34回	試験結果のフィードバック
35回	1年間の振り返り

じゅぎょう ほうほう 授業の方法
講義、演習

きょうざい 教材
特に指定しない。必要に応じて関連資料を配布することがある

ひょうか ほうほう 評価の方法
きまつしけん 期末試験 80%、 じょうたんとく 平常点 20%（ しゅっせきりつ 出席率、 じゅぎょうたいど 授業態度等）

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう 授業外での学習方法
学校内外で経験する、様々なプレゼンテーションへの傾聴

じつむけいけん じゅぎょうかもく かんけい 実務経験と授業科目の関係
北川：研究員として研究成果発表、技術提案の経験。伊藤：インタープリターとして普及活動の経験

基礎健康管理学Ⅱ

(授業概要)

犬、猫を中心とした身近な動物のエマージェンシー時の症状、応急処置について学び、対処法、予防策について、一般的にできる最低限の内容を理解する。
動物の一生涯において、ステージごとに関わる内容について学ぶ。

か 科	生命科学科	きょういん 教 員	石原 昌代
コース	ショップゼミ	きょういん じつむけいけん 教 員 の 実 務 経 験	○
たいしょうねんじ 対 象 年 次	2 年	ねんかんたんいじかん 年 間 単 位 時 間	35 時間

もくひょう
目 標

1 学期
エマージェンシーとは何かを理解し、症状に早く気づける観察ポイントなどの知識を学ぶ。
最低限の応急処置、対応ができること、また、起こさない予防策、接し方を習得する。
実際の症例課題を与え、問題点、応急処置、対策などを考え、身近に起こりうる事を実感する。

2 学期
引き続き、エマージェンシー対応の方法を学ぶ。
動物の生涯ステージごとの接し方、注意点などを理解し、最終形である死、についても理解を深める。

じゅぎょうけいかく
授 業 計 画

- 1 回 授業について エマージェンシーとは
- 2 回 状態確認の方法
- 3 回 応急処置 出血
- 4 回 応急処置 出血
- 5 回 応急処置 やけど
- 6 回 応急処置 やけど
- 7 回 応急処置 熱中症
- 8 回 応急処置 熱中症
- 9 回 応急処置 ショック
- 10 回 応急処置 ショック
- 11 回 応急処置 骨折
- 12 回 応急処置 骨折
- 13 回 実習
- 14 回 実習
- 15 回 応急処置 眼球突出

16回	前期試験
17回	前期試験返却
18回	応急処置 眼球突出
19回	応急処置 眼球突出
20回	応急処置 けいれん発作
21回	応急処置 けいれん発作
22回	応急処置 感電
23回	応急処置 感電
24回	応急処置 窒息
25回	応急処置 窒息
26回	応急処置 中毒 誤食
27回	応急処置 中毒 誤食
28回	グリーンケア
29回	グリーンケア
30回	老齢動物の飼育管理
31回	老齢動物の飼育管理
32回	安楽死 エンゼルケア
33回	安楽死 エンゼルケア
34回	後期試験
35回	後期試験返却

じゅぎょう ほうほう 授業の方法
座学、グループワーク
きょうざい 教材
コンパニオンアニマルの新健康管理学 プリント 動物
ひょうか ほうほう 評価の方法
きまつしけん 期末試験80%（症例レポート点含む）、出席率 20%
じゅぎょうがい がくしゅうほうほう 授業外での学習方法
なし
じつむけいけん じゅぎょうかもく かんけい 実務経験と授業科目の関係
動物看護師

動物人間関係学

（授業概要）

人と動物の関係について、その歴史と現在の状況について学ぶ。動物と暮らすことの恩恵、適切に関わるための知識（人と動物の福祉、動物介在介入、虐待等）についての理解を深め、動物看護師として社会の人々を支援できる力を育てる。

か 科	生命科学科	きょういん 教 員	中野 あや
コース	ショップゼミ	きょういん じつむけいけん 教 員 の実務経験	○
たいしょうねんじ 対 象 年 次	2 年	ねんかんたんいじかん 年間単位時間	35 時間

目 標

1 学期

人と動物の関わりの歴史と現在の状況について学び、ペットが人に与える影響について理解する。
日本と欧米の動物の在り方について、その違いを説明できるようになる。

2 学期

動物介在介入について理解し、動物福祉の観点から活動を評価できるようになる。
人と動物の福祉の観点について学び、適正飼育や虐待についての知識を深める。

授 業 計 画

1 学期

- 1 回 人と動物の関係学：ガイダンス
- 2 回 なぜペットを飼うのか（4 章－1）
- 3 回 ペットの歴史と現状（4 章－2）
- 4 回 5/12 休講（課題）
- 5 回 人と動物の関係の歴史（1 章－1）
- 6 回 動物と日本の文化①（1 章－2）
- 7 回 動物と日本の文化②（1 章－2）
- 8 回 日本と西洋の動物との関わりの比較（1 章－3）
- 9 回 現代の動物の使用状況（2 章－1）
- 10 回 人の健康への動物の効果（2 章－2）
- 11 回 前期試験
- 12 回 前期試験返却、解答
- 13 回 動物介在活動の定義と歴史①（3 章－1）
- 14 回 学校飼育動物の現状（3 章－3）
- 15 回 動物介在行動を実施するために①（3 章－2）

16回	動物介在行動を実施するために②（3章―2）
17回	動物虐待の定義と背景（5章―1）
18回	動物の役割（使役場面、高齢者、子供）と虐待（4章―5）
19回	学校飼育動物の目的と実際（3章―3）
20回	ペットと幸せに暮らすために（4章―3）
21回	エキスポに参加する動物たちについて考える（計画）
22回	インターンシップ休講
23回	インターンシップ休講
24回	エキスポに参加した動物たちについて考える（結果）
25回	ペットの現状について復習（4章-1,2）
26回	ペットへの愛着と依存（4章―4）
27回	ペットロス（4章―5）
28回	動物虐待の対処と法規制（5章―2,3）
29回	多頭飼育問題、高齢化による飼育困難（5章―4,6）
30回	ベテリナリーソーシャルワーク（5章―7）
31回	後期の復習
32回	後期試験
33回	後期試験返却、解答
33回	人と動物の関係学：総括
35回	課題

じゅぎょう ほうほう 授業の方法
講義

きょうざい 教材
愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書4巻、資料動画

ひょうか ほうほう 評価の方法
きまつしけん 期末試験80%、 じゅぎょうたいど 授業態度20%

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう 授業外での学習方法
参考図書の紹介

じつむけいけん じゅぎょうかもく かんけい 実務経験と授業科目の関係
あり

コンパニオンキャットⅡ

(授業概要)

ペットに関わる職業（トリマー、ペットショップ、動物保護、動物看護）を目指すうえでしておくべき猫の基礎知識について、ブリーディング、老猫のケア、猫のシャンプー、カラー遺伝を中心に全般的な知識を習得する

科	生命科学科	教員	上田
コース	ショップゼミ	教員の実務経験	○
対象年次	2年	年間単位時間	35時間

目標

1 学期

来客されるお客様がブリードされる時細かく、お客様が安心してブリード出来るように、正しく説明できるようになる。

大事な猫ちゃんとの別れを猫にとっても飼い主にとっても後悔の内容にオーナー様に話せるようになる。

2 学期

カラーを知ること、販売する猫のカラーが正しいか又お客様から質問された時、解りやすく説明できるようになる。

授業計画

1 学期

- 1 回 ブリーディング①（正しいブリーディング）
- 2 回 ブリーディング②（4つのブリーディング①）
- 3 回 ブリーディング③（4つのブリーディング②）
- 4 回 ブリーディング④（交配に適した条件）
- 5 回 ブリーディング⑤（交配の取決め）
- 6 回 ブリーディング⑥（交配前の雌猫のコンディション）
- 7 回 ブリーディング⑦（法背後の母猫の管理）
- 8 回 ブリーディング⑧（受精・受胎確認）
- 9 回 ブリーディング⑩（出産準備①）
- 10 回 ブリーディング⑪（出産準備②）
- 11 回 ブリーディング⑫（出産DVD）
- 12 回 ブリーディング⑬（出産前の母猫の変化）
- 13 回 ブリーディング（出産）
- 14 回 ブリーディング（出産中のトラブル）
- 15 回 ブリーディング（産後のトラブル）
- 16 回 ブリーディング（人口哺乳①）
- 17 回 ブリーディング（人口哺乳②）

18回	前期テスト
19回	前期テスト答え合わせ & 不理解部分の説明
2学期	
20回	ブリーディング（性格の良い猫に育てる）
21回	ブリーディング（離乳食）
22回	血統書について
23回	老猫のケアー①
24回	老猫のケアー②
25回	老猫のケアー③
26回	猫のシャンプー①
27回	猫のシャンプー②
28回	カラー遺伝①(ソリッド)
29回	カラー遺伝②(アグーチ)
30回	カラー遺伝③(優性・劣性)
31回	カラー遺伝④（ブラック遺伝・オレンジ遺伝）
32回	カラー遺伝⑤（半生遺伝）
33回	カラー遺伝⑥（両親から受け継ぐ遺伝）
34回	後期テスト
35回	後期テスト答え合わせ & 不理解部分の説明

じゅぎょう ほうほう 授業の方法
講義

きょうざい 教材
「猫の教科書」

ひょうか ほうほう 評価の方法
きまつしけん 期末試験80%、出席率 20%

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう 授業外での学習方法
老猫のケアーを実践し、成猫までのケアー方法との違いに理解を深める

じつむけいけん じゅぎょうかもく かんけい 実務経験と授業科目の関係
あり

就職演習

(授業概要)

就職活動において必要な知識、スキル、また社会に出た際必要となるルールやマナーを学び、今後の就職活動や社会人になったときに活かせる知識を身につける。

科	生命科学科	きょういん 教員	稲岡 愛
コース	トレーニングケアゼミ・ショップゼミ	きょういん じつむけいけん 教員の実務経験	○
たいしょうねんじ 対象年次	2 年	ねんかんたんいじかん 年間単位時間	35

もくひょう
目標

- 1 学期
- 自分を最大限アピールできる履歴書が書けるようになる。
インターンシップ実習にも活かせる社会のルールを知る。
- 2 学期
- 社会に出たときのルール、マナーを学ぶ。
就職面接における受け答えをイメージし、シミュレーションできるようになる。

じゅぎょうけいかく
授業計画

- 1 回 履歴書①
- 2 回 履歴書②
- 3 回 履歴書③/あいさつ
- 4 回 履歴書④/あいさつ
- 5 回 履歴書⑤/あいさつ
- 6 回 来客対応①
- 7 回 来客対応②
- 8 回 電話対応①
- 9 回 電話対応②
- 10 回 名刺交換
- 11 回 前期試験
- 12 回 試験フィードバック
- 13 回 序列
- 14 回 就職面接の準備
- 15 回 前期のまとめ
- 16 回 前期試験
- 17 回 前期試験返却
- 18 回 就職面接準備①/身だしなみ①

19回	就職面接準備②/身だしなみ②
20回	就職面接準備③/言葉づかい①
21回	就職面接準備④/言葉づかい②
22回	就職面接準備⑤/言葉づかい③
23回	話の聞き方①
24回	話の聞き方②
25回	話の聞き方③
26回	SNSについて①
27回	SNSについて②
28回	SNSについて③
29回	訪問①
30回	訪問②
31回	動物業界で就職するために
32回	職場における人間関係
33回	社会人1年生に向けて
34回	後期試験
35回	後期試験返却・社会に出るということ

じゅぎょう ほうほう 授業の方法
講義

きょうざい 教材
なし

ひょうか ほうほう 評価の方法
きまつしけん しゅっせきりつ じゅぎょうたいど 期末試験 80%、平常点 20%（出席率、授業態度等）

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう 授業外での学習方法
就職活動、インターンシップ実習の際の実践

じつむけいけん じゅぎょうかもく かんけい 実務経験と授業科目の関係
あり

アクアリウム学

(授業概要)

ペットショップ・アクアショップなどの施設において水槽管理をする上で使用する機材また道具の基本的な使用方法を学習する。また売上を上げるために必要な知識、水槽の見せ方などを学習する。

科	生命科学科	きょういん 教 員	山内
コース	ショップゼミ	きょういん じつむけいけん 教 員 の実務経験	○
たいしょうねんじ 対 象 年 次	2 年	ねんかんたんいじかん 年間単位時間	70

もくひょう
目 標

- 1 学期
- ペットショップで取り扱われていることが多い、魚種の飼育方法や機材の使用方を理解し、担当水槽において実践できるようにする。
- 2 学期
- 主に熱帯魚を中心とした水槽でのレイアウトの基本を理解し、見る人にとっての価値を高めることができる水槽を作成できるようにする。また、実習においてポップや作業マニュアルなどを用いて水槽内だけではなく、棚や壁面などもアレンジを加え、ペットショップさながらの空間を学生たちの手で作り上げる。

じゅぎょうけいかく
授 業 計 画

- 1 学期
- 1 回

ショップエリアの水槽の管理方法解説、給餌の曜日担当決め、水槽管理実習
- 2 回

水槽の立ち上げとリセット、生体の移動、水槽管理実習
- 3 回

水槽の立ち上げとリセット、生体の移動、水槽管理実習
- 4 回

投げ込み式フィルター・底面フィルターについて（メンテナンス、設置方法）、水槽管理実習
- 5 回

外掛けフィルター・スポンジフィルターについて（メンテナンス、設置方法）、水槽管理実習
- 6 回

外部フィルターについて（メンテナンス、設置方法）、水槽管理実習
- 7 回

伝言ゲーム（フィルターのメンテナンス）、水槽管理実習
- 8 回

魚種解説①（カラシン）、水槽管理実習
- 9 回

魚種解説②（カダヤシ）、水槽管理実習
- 10 回

魚種解説③（シクリッド・アナバス）、水槽管理実習
- 11 回

魚種解説④（ナマズ）、水槽管理実習
- 12 回

伝言ゲーム（魚種）、水槽管理実習
- 13 回

大掃除、長期休みの給餌当番決め 水槽管理実習（復習も兼ねて全ての水槽で換水）
- 14 回

魚種解説⑤（コイ・ドジョウ）、水槽管理実習
- 15 回

魚種解説⑥（古代魚・その他の魚種・エビ・貝類など）、水槽管理実習
- 16 回

魚種解説⑦（金魚・メダカ・日本淡水魚）、水槽管理実習
- 17 回

前期試験

18回	試験返却
2学期	
19回	餌解説（乾燥・冷凍・生餌・人工）、水槽管理実習
20回	照明器具、保温・保冷器具解説、水槽管理実習
21回	伝言ゲーム（餌または照明器具）、水槽管理実習
22回	床材解説、水槽管理実習
23回	水草解説①、水槽管理実習
24回	水草解説②、水槽管理実習
25回	水草のトリミング方法について、水槽管理実習
26回	レイアウト構図・水槽配置計画、水槽管理実習
27回	レイアウト構図・水槽配置計画、水槽管理実習
28回	レイアウト実践、引き継ぎマニュアル作成、水槽管理実習
29回	レイアウト実践、引き継ぎマニュアル作成、水槽管理実習
30回	レイアウト実践、引き継ぎマニュアル作成、水槽管理実習
31回	レイアウト実践、引き継ぎマニュアル作成、水槽管理実習
32回	伝言ゲーム（水草）、水槽管理実習
33回	試験
34回	試験返却、水槽管理実習
35回	大掃除、後輩への引き継ぎ最終準備、水槽管理実習

じゅぎょう ほうほう 授業の方法
座学、実演、実習

きょうざい 教材
レイアウトに使える水草 500 種図鑑、はじめての熱帯魚と水草 アクアリウム BOOK

ひょうか ほうほう 評価の方法
きまつしけん じゅぎょうたいど 期末試験80%、授業態度20%

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう 授業外での学習方法
担当水槽においての通常メンテナンス

じつむけいけん じゅぎょうかもく かんけい 実務経験と授業科目の関係
あり

アニマルケア概論

(授業概要)

ペットに関わる職業（トリマー、トレーナー、動物看護師、ショップ、動物保護等）に就くために知っておくべき知識として、ホリスティックアニマルケア、ペットアロマセラピー（講義）、ホリスティックマッサージ（実習）を中心に学び習得する

か 科	生命科学科	きょういん 教 員	荻野
コース	ショップゼミ	きょういん じつむけいけん 教 員 の 実 務 経 験	○
たいしょうねんじ 対 象 年 次	2 年次	ねんかんたんい じ かん 年 間 単 位 時 間	35

目 標

1 学期

ホリスティックアニマルケア アロマセラピーを通じて、ペットの生活の質の向上を図るためにアロマの基礎知識を習得し、一人でできるようになる。

2 学期

スキンマッサージを習得し、動物にリラックスと癒しを提供できるようになる。

全期を通して、人と動物の関係、そして動物とのより豊かな暮らしを考え、行動できるようになる。

授 業 計 画

1 学期

- 1 回 1 動物を飼う 「環境編」
- 2 回 1 動物を飼う 「予防編」
- 3 回 1 動物を飼う 「愛情・絆編」
- 4 回 2 ペットとストレス
- 5 回 3・4 ストレスの原因
- 6 回 5 アロマセラピー
- 7 回 6 精油とは
- 8 回 7・8 精油の希釈濃度 植物が芳香物質を含有するようになった理由
- 9 回 9・10 精油の抽出方法
- 10 回 11・12 においと嗅覚
- 11 回 13・14・15 嗅覚の伝達メカニズム アロマのメカニズム
- 12 回 16 アロマセラピーと基材
- 13 回

- 14 回 17・18 アロマセラピーの取り入れ方
- 15 回 19・20 ペットのアロマセラピー
- 16 回 21・22 安全に使用するために
- 17 回 ホリスティックマッサージとはテスト
- 18 回 ①なでる 手法
- 19 回 実技テスト解答
- 20 回 ②たたく 手法実技
- 21 回 ③引っ張る 手法実技
- 22 回 ④揺らす 手法実技
- 23 回 ⑤もむ 手法実技
- 24 回 ⑥押しまわす 手法実技
- 25 回 ⑦手を当てる 手法実技
- 26 回 応用編
- 27 回 応用編
- 28 回 技術確認
- 29 回 技術確認
- 30 回 実技テスト
- 31 回 実技テスト
- 32 回 実技テスト ※実技テスト終了時は「栄養管理について」
- 33 回 実技テスト ※実技テスト終了時は「栄養管理について」
- 34 回 テスト（筆記）
- 35 回 テスト（筆記解答）

授業の方法

講義、演習、グループワーク

教材

ノートプリント 1～22 マッサージ関連プリント 10 枚 精油一覧表

評価の方法

期末試験80%、出席率 20%

授業外での学習方法

動物にかかるストレスを意識し、常にストレスがかからないように行動する

実務経験と授業科目の関係

株式会社 IK 工業ペット事業部 D-HAB 経営

エキゾチックアニマルⅡ

(授業概要)
ペットとして人気になりつつあるハリネズミ、デグー、フクロモモンガの分類や生態、特性を理解し、小動物を正しく扱えるようになる。

科	生命科学科	教員	伊勢
コース	ショップゼミ	教員の実務経験	○
対象年次	2年	年間単位時間	35時間

目標
1学期 デグー・ハリネズミ・フクロモモンガの生体や歴史、飼育時の注意点、病気や症状などを理解し説明できるようになるまた、それらを通し飼育動物の基礎を固める。
2学期 プレーリードッグ・リチャードソンジリス・シマリス・ミーアキャットの生体や歴史、飼育時の注意点、病気や症状などを理解し説明できるようになるまた、それらを通し飼育動物の基礎を固める。

授業計画
1回 デグーについて（分類、歴史）
2回 デグーについて（体の特徴）
3回 デグーについて（生理的な特徴）
4回 デグーについて（飼育方法）
5回 デグーについて（繁殖、病気）
6回 ハリネズミについて（分類、歴史）
7回 ハリネズミについて（体の特徴）
8回 ハリネズミについて（生理的な特徴）
9回 ハリネズミについて（飼育方法）
10回 ハリネズミについて（繁殖、病気）
11回 フクロモモンガについて（分類、歴史）
12回 フクロモモンガについて（体の特徴）
13回 フクロモモンガについて（生理的な特徴）
14回 フクロモモンガについて（飼育方法）
15回 フクロモモンガについて（繁殖、病気）
16回 前期期末試験
17回 前期期末試験返却

18回	プレーリードッグについて（分類、歴史）
19回	プレーリードッグについて（体の特徴）
20回	プレーリードッグについて（生理的な特徴）
21回	プレーリードッグについて（飼育方法）
22回	プレーリードッグについて（繁殖、病気）
23回	リチャードソン・ジリスについて（分類、歴史）
24回	リチャードソン・ジリスについて（体の特徴・生理的な特徴）
25回	リチャードソン・ジリスについて（飼育方法）
26回	シマリスについて（分類、歴史）
27回	シマリスについて（体の特徴・生理的な特徴）
28回	シマリスについて（飼育方法）
29回	シマリスについて（繁殖、病気）
30回	ミーアキャットについて（分類、歴史）
31回	ミーアキャットについて（体の特徴、生理的な特徴）
32回	ミーアキャットについて（飼育方法）
33回	ミーアキャットについて（繁殖、病気）
34回	後期期末試験
35回	後期期末試験返却

じゅぎょう ほうほう 授業の方法
講義

きょうざい 教材
カラーアトラス エキゾチックアニマル

ひょうか ほうほう 評価の方法
きまつしけん 期末試験 80%、 しゅっせきりつ 平常点 20%（ じゅぎょうたいど 出席率、授業態度等）

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう 授業外での学習方法
1回1回の授業ノートに関してポイントを各自まとめなおし、随時チェックする。

じつむけいけん じゅぎょうかもく かんけい 実務経験と授業科目の関係
あり

グルーミング概論・実習Ⅱ

(授業概要)

シャンプー犬のグルーミングの意義を理解し、実際に犬の爪切り、耳掃除、バリカン、ブラッシング、シャンプー、ドライイング等を行い、1年を通してグルーミング技術や犬の扱い方について学ぶ。

科	生命科学科	きょういん 教 員	草刈 祐子
コース	ショップゼミ	きょういん じつむけいけん 教 員 の 実 務 経 験	○
たいしょうねんじ 対 象 年 次	2 年	ねんかんたんいじかん 年 間 単 位 時 間	35×5 コマ

もくひょう 目 標
1 学期 ベーシックマスターライセンスの取得を目指す 全体で時間を計り、各自で時間配分を意識し実習を行う (チワワ：100 分 ダックスフンド・パピヨン：115 分)
2 学期 1 つ 1 つ の 作 業 を 丁 寧 に 行 い、 仕 上 が り を 綺 麗 に す る ハサミの動かし方を理解し、希望者のみ飛節下・手根球下カットを行う

じゅぎょうけいかく 授 業 計 画
1 回 グルーミング実習 (2～3 人で 1 頭)
2 回 グルーミング実習 (2～3 人で 1 頭)
3 回 グルーミング実習 (2～3 人で 1 頭)
4 回 グルーミング実習 (2～3 人で 1 頭)
5 回 グルーミング実習 (2～3 人で 1 頭)
6 回 グルーミング実習 (2～3 人で 1 頭)
7 回 グルーミング実習 (2～3 人で 1 頭)
8 回 グルーミング実習 (2～3 人で 1 頭)
9 回 グルーミング実習 (2～3 人で 1 頭)
10 回 グルーミング実習 (1～2 人で 1 頭)
11 回 グルーミング実習 (1～2 人で 1 頭)
12 回 グルーミング実習 (1～2 人で 1 頭)
13 回 グルーミング実習 (1～2 人で 1 頭)
14 回 グルーミング実習 (1～2 人で 1 頭)
15 回 グルーミング実習 (1～2 人で 1 頭)
16 回 グルーミング実習 (1～2 人で 1 頭) ライセンス方式で行い時間を意識
17 回 グルーミング実習 (1～2 人で 1 頭) ライセンス方式で行い時間を意識
18 回 グルーミング実習 (1～2 人で 1 頭) ライセンス方式で行い時間を意識

19回	グルーミング実習（1～2人で1頭）ライセンス方式で行い時間を意識
20回	グルーミング実習（1～2人で1頭）ライセンス方式で行い時間を意識
21回	グルーミング実習（1～2人で1頭）ライセンス方式で行い時間を意識
22回	グルーミング実習（1～2人で1頭）ライセンス方式で行い時間を意識
23回	グルーミング実習（1～2人で1頭）ライセンス方式で行い時間を意識
24回	グルーミング実習（1～2人で1頭）ライセンス方式で行い時間を意識
25回	グルーミング実習・ライセンス試験
26回	グルーミング実習（1～2人で1頭）飛節下・手根球下カット開始
27回	グルーミング実習（1～2人で1頭）
28回	グルーミング実習（1～2人で1頭）
29回	グルーミング実習（1～2人で1頭）
30回	グルーミング実習（1～2人で1頭）
31回	グルーミング実習（1～2人で1頭）
32回	グルーミング実習（1～2人で1頭）
33回	グルーミング実習（1～2人で1頭）
34回	グルーミング実習（1～2人で1頭）
35回	グルーミング実習（1～2人で1頭）

じゅぎょう ほうほう 授業の方法
実技実習

きょうざい 教材
グルーミング用品

ひょうか ほうほう 評価の方法
きまつしけん じゅぎょうたいど 期末試験80%、授業態度20%

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう 授業外での学習方法
ハサミの動かし方を自宅で練習する

じつむけいけん じゅぎょうかもく かんけい 実務経験と授業科目の関係
あり

ショップゼミ演習

(授業概要)

ペットショップを実際に運営し、接客・発注・売り場作成などを行うことで、インターンシップ実習では経験できないペットショップの仕事の本質まで理解すると共に、就職した際に即戦力となるための実習をおこなう。また、就職にむけての意識を高める。

科	生命科学科	教員	橋本
コース	ショップゼミ	教員の実務経験	○
対象年次	2年	年間単位時間	245時間

目標

1 学期

就職に向けて、専門学校の強みは何か、授業はなんのためにあるのか、自分はどのような人間か、自分が目指す企業はどんな企業かを調べ、理解し、話せるようになる。ショップ実習室では、ショップ運営に必要なものとはなにかを理解し、実際に行動する。

2 学期

動物や自分の研究したことを人に伝えるということを意識して、グループごとに調べて人前で話す。ショップ実習室では、売上をあげることを意識したショップ運営を行い、実際に前期よりも売り上げを上げる。

授業計画

1 学期

- 1 回 ショップゼミとは/卒業研究発表会について/しよっぴいについて/鳥類の特徴について(骨格)
- 2 回 卒業研究/ショップ実習室準備/鳥類の特徴について(呼吸方法・羽毛)
- 3 回 面接対策/ショップ実習室準備/鳥類の特徴について(換羽・皮膚)
- 4 回 面接対策実践/ショップ実習室準備/鳥類の特徴について(呼吸器)
- 5 回 面接対策実践/ショップ実習室準備/鳥類の特徴について(消化器)
- 6 回 グループディスカッション実践/ショップ実習室準備/鳥類の特徴について(泌尿器・生殖・繁殖)
- 7 回 グループディスカッション実践/ショップ実習室準備/鳥類の特徴について(代謝・循環器・感覚器)
- 8 回 面接対策実践/ショップ実習室運営 A/鳥類の種類について
- 9 回 面接対策実践/ショップ実習室運営 B/鳥類の種類について
- 10 回 スポーツ大会準備/ショップ実習室運営 A/鳥類の種類について
- 11 回 スポーツ大会準備/ショップ実習室運営 B/鳥類の種類/鳥類の飼育について
- 12 回 卒業研究/ショップ実習室運営 A/鳥類の飼育について
- 13 回 卒業研究/ショップ実習室運営 B/鳥類の診察について
- 14 回 前期のしよっぴい反省・改善/ショップ実習室準備/鳥類の検査について
- 15 回 KAP エキスパートだし/前期試験/鳥類の検査について

- 16回 KAP エキスポ準備/前期試験返却/鳥類の薬剤投与について
- 17回 KAP エキスポ準備/ショップ実習室運営 A/鳥類の薬剤投与について/鳥類の疾病について
- 18回 KAP エキスポ準備/ショップ実習室運営 B/鳥類の疾病について
- 19回 KAP エキスポ準備/ショップ実習室運営 A/鳥類の疾病について
- 20回 KAP エキスポ準備/ショップ実習室運営 B/
- 21回 KAP エキスポ振り返り/ショップ実習室運営 A/
- 22回 しょっぱい売上上げるための案だし・振り返り/ショップ実習室運営 B/
- 23回 しょっぱい売上上げるためのディスカッション/ショップ実習室運営 A/
- 24回 しょっぱい年度内最終調整/ショップ実習室運営 B/
- 25回 卒業研究/ショップ実習室運営 A/
- 26回 卒業研究/ショップ実習室運営 B/
- 27回 卒業研究/ショップ実習室運営 A/
- 28回 卒業研究/ショップ実習室運営 B/
- 29回 卒業研究/ショップ実習室運営 A/
- 30回 卒業研究/後期試験/
- 31回 卒業研究/後期試験返却/
- 32回 卒業研究/ショップ実習室運営 B/
- 33回 卒業研究/ショップ実習室運営 A/
- 34回 2年間振り返り/ショップ実習室運営 B/
- 35回 しょっぱい掃除、片付け/2年間振り返り・懇親会

授業の方法

グループディスカッション・実習

教材

カラーアトラス エキゾチックアニマル鳥類編

評価の方法

期末試験80%、出席率 20%

授業外での学習方法

ペットショップにて POP や売り場作成を随時チェックする

実務経験と授業科目の関係

あり

ドッグトレーニング概論

(授業概要)

犬学 家庭犬のしつけ
犬との生活に必要なルールやマナーの構築

科	生命科学科	教員	高山
コース	SHP	教員の実務経験	○
対象年次	2年	年間単位時間	35時間

目標
1 学期 人と犬との生活について必要なハウスマナーの構築、教え方を理解する
2 学期 人と犬との暮らしの QOL を考え、クライアントに提供する知識、技術を得る

授業計画
1 学期 1 回 実習の諸注意の確認、犬の散歩等の管理と取り扱いの確認、班分け、担当犬決め 2 回 犬のボディランゲージ、ストレスサイン、カーミングシグナルの確認 3 回 人と犬との生活について、リードプログラムの確認 4 回 犬の学習とは/拮抗条件付けとオペラント条件付け 1 5 回 犬の学習とは/拮抗条件付けとオペラント条件付け 2 6 回 行動の強化と消去 7 回 行動の般化と状況学習 8 回 正の強化とトレーニングの概念 9 回 強化の法則と強化スケジュール/強化子とは 10 回 二次性強化子とは 11 回 テスト 12 回 テスト 13 回 テスト返し、解答 14 回 前期のまとめ 2 学期 15 回 前期の復習

16回	犬の自発行動について 1
17回	犬の自発行動について 2
18回	犬の自発行動について 3
19回	ドッグアクティビティについて
20回	ドッグアクティビティについて
21回	好ましくない行動の修正
22回	トイレトレーニング
23回	甘噛み いたずら噛み
24回	吠える犬の分類と防止
25回	飛びつき、人との挨拶
26回	散歩のルールとマナー
27回	拾い食い防止
28回	犬の健康と行動の関係
29回	犬のボディコンディショニング
30回	犬のシニア期における行動の変化 1
31回	犬のシニア期における行動の変化 2
32回	犬の QRL とは
33回	後期のまとめ
34回	テスト
35回	テスト返し、解答

じゅぎょう ほうほう 授業の方法
座学 実技実習

きょうざい 教材
テキスト、DVD、犬具、トレーニング用具等

ひょうか ほうほう 評価の方法
きまつしけん 期末試験80%、出席率 20%

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう 授業外での学習方法
実習犬の散歩等を通しての犬の管理や取り扱い

じつむけいけん じゅぎょうかもく かんけい 実務経験と授業科目の関係
あり、陽性強化法を用いた訓練を通し、正しい犬との関係性の構築の仕方を教える

両生爬虫類学 II

(授業概要)

一年次の両生爬虫類学Ⅰにて学んだ両生爬虫類の生態的観点の知識を元に、ペットショップで扱う種類の品種や飼育方法に必要な知識を身につける。また、両生爬虫類だけでなくショップの部門では同等に扱うこともある奇蟲や餌用生体の取り扱い方についても教養を深める。

科	生命科学科	きょういん 教員	山内
コース	ショップゼミ	きょういん　じつむけいけん 教員の実務経験	○
たいしょうねんじ 対象年次	2年	ねんかんたんいじかん 年間単位時間	35

もくひょう
目標

- 1 学期
- 両生爬虫類の定義の復習し、ペットとして流通する両生爬虫類の中でもヘビ・カメ・トカゲの種類や生態、飼育時の注意点、病気などを理解し説明できるようになる。
- 2 学期
- トカゲモドキ・樹上性ヤモリ・無尾目・有尾目・無足類の種類や生態、飼育時の注意点、病気を理解し説明できるようになる。また、生体管理の実習において学んだポイントを活かして実習を進めていく。

じゅぎょうけいかく
授業計画

- 1 学期
- 1 回　アイスブレイク、両生爬虫類の特徴（復習）
- 2 回　分類別解説：ヘビ（分類・歴史）
- 3 回　分類別解説：ヘビ（身体・生理的特徴）
- 4 回　分類別解説：ヘビ（種類・品種）
- 5 回　分類別解説：ヘビ（飼育方法）
- 6 回　分類別解説：カメ（分類・歴史）
- 7 回　分類別解説：カメ（身体・生理的特徴）
- 8 回　分類別解説：カメ（種類・品種）
- 9 回　分類別解説：カメ（飼育方法）
- 10 回　分類別解説：トカゲ（分類・歴史）
- 11 回　分類別解説：トカゲ（身体・生理的特徴）
- 12 回　分類別解説：トカゲ（種類・品種）
- 13 回　分類別解説：トカゲ（飼育方法）
- 14 回　分類別解説：トカゲモドキ（分類・歴史）
- 15 回　分類別解説：トカゲモドキ（身体・生理的特徴）
- 16 回　試験対策
- 17 回　前期試験

18回	試験返却
2学期	
19回	分類別解説：トカゲモドキ（種類・品種）
20回	分類別解説：トカゲモドキ（飼育方法）
21回	分類別解説：樹上性ヤモリ（分類・歴史）
22回	分類別解説：樹上性ヤモリ（身体・生理的特徴）
23回	分類別解説：樹上性ヤモリ（種類・品種）
24回	分類別解説：樹上性ヤモリ（飼育方法）
25回	分類別解説：無尾目・有尾目・無足類（分類・歴史）
26回	分類別解説：無尾目・有尾目・無足類（身体・生理的特徴）
27回	分類別解説：無尾目・有尾目・無足類（種類・品種）
28回	分類別解説：無尾目・有尾目・無足類（飼育方法）
29回	分類別解説：奇蟲・餌用生体（分類・歴史）
30回	分類別解説：奇蟲・餌用生体（身体・生理的特徴）
31回	分類別解説：奇蟲・餌用生体（種類・品種）
32回	分類別解説：奇蟲・餌用生体（飼育方法）
33回	試験対策
34回	後期試験
35回	試験返却

じゅぎょう ほうほう 授業の方法
座学

きょうざい 教材
なし

ひょうか ほうほう 評価の方法
きまつしけん じゅぎょうたいど 期末試験80%、授業態度20%

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう 授業外での学習方法
生体管理実習での生体管理、飼育用品概論Ⅱの復習

じつむけいけん じゅぎょうかもく かんけい 実務経験と授業科目の関係
あり

動物関連法規 II

(授業概要)

外来生物法やワシントン条約を中心として、主に野生動物に関する法律を学ぶ

か 科	生命科学科	きょういん 教 員	井田 竜馬
コース	ショップゼミ	きょういん じつむけいけん 教 員 の実務経験	○
たいしょうねんじ 対 象 年 次	2 年	ねんかんたんいじかん 年間単位時間	35 コマ

もくひょう 目 標
1 学期 外来生物法、ワシントン条約などについて理解できるようになる。
2 学期 種の保存法、鳥獣保護法、漁業系の法律などについて理解できるようになる。

じゅぎょうけいかく 授 業 計 画
1 回 外来種と外来生物（1）言葉の定義
2 回 外来種と外来生物（2）導入経路 その 1
3 回 外来種と外来生物（3）導入経路 その 2
4 回 外来生物法（1）施行年、目的など
5 回 外来生物法（2）特定外来生物 その 1
6 回 外来生物法（3）特定外来生物 その 2
7 回 外来生物法（4）特定外来生物 その 3
8 回 外来生物法（5）未判定外来生物、種類名証明書が必要な生物
9 回 外来生物法（6）罰則
10 回 ワシントン条約（1）日本語と英語の正式名称
11 回 ワシントン条約（2）条約の成立背景、プロフィールなど
12 回 前期試験

13 回	前期試験返却・解説
14 回	ワシントン条約（3）レッドリストとの違い
15 回	ワシントン条約（4）留保
16 回	ワシントン条約（5）附属書Ⅰについて その1
17 回	ワシントン条約（6）附属書Ⅰについて その2
18 回	ワシントン条約（7）附属書Ⅱ、附属書Ⅲ
19 回	種の保存法（1）法律の概要
20 回	種の保存法（2）国内希少野生動植物種 その1
21 回	種の保存法（3）国内希少野生動植物種 その2
22 回	種の保存法（4）国内希少野生動植物種 その3
23 回	種の保存法（5）国際希少野生動植物種 その1
24 回	種の保存法（6）国際希少野生動植物種 その2
25 回	種の保存法（7）国際希少野生動植物種 その3
26 回	種の保存法（8）緊急指定種
27 回	後期試験
28 回	後期試験返却、解説
29 回	鳥獣保護法（1）
30 回	鳥獣保護法（2）、
31 回	漁業法（1）
32 回	漁業法（2）
33 回	水産資源保護法（1）
34 回	水産資源保護法（2）
35 回	2年総復習

じゅぎょう ほうほう 授業の方法
講義

きょうざい 教材
テキスト、自作のプリント

ひょうか ほうほう 評価の方法
きまつしけん 期末試験 80%、 じょうじょう 平常点 20%（ しゅっせきりつ 出席率、 じゅぎょうたいど 授業態度等）

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう 授業外での学習方法
1 回 1 回の授業ノートに関してポイントを各自纏めなおし、随時チェックする。

じつむけいけん じゆぎやうかもく かんけい 実務経験と授業科目の関係
あり

接客実践

(授業概要)
接客や売り場作成など店舗運営に必要な知識を身に着け、しよっぱいしよっぱー運営に

科	生命科学科	教員	橋本
コース	ショップゼミ	教員の実務経験	○
対象年次	2年	年間単位時間	35 コマ

目標
1 学期 売場作成のポイントを理解し、実践する
2 学期 POP 作成をアピールする場によって作り変えられるようになる。

授業計画
1 回 接客実践とは
2 回 店舗運営の基礎
3 回 売場配置
4 回 売場配置
5 回 色が与える印象
6 回 色の種類
7 回 季節ごとの色について
8 回 売場作成について
9 回 売場作成について (エンド)
10 回 売場作成について (マグネット)
11 回 売場作成について (並べ方)
12 回 実践 (しよっぱいにて)
13 回 実践 (しよっぱいにて)
14 回 実践 (しよっぱいにて)
15 回 前期振り返り
16 回 前期試験
17 回 前期試験返却
18 回 POP とは？

19 回	人が物を買う流れ（アイドマ）
20 回	効果的な POP 作成のコツ
21 回	POP 文字練習
22 回	POP 文字練習
23 回	POP 基本作成
24 回	商品 POP 作成実践・フィードバック
25 回	商品 POP 作成実践・フィードバック
26 回	商品 POP 作成実践・フィードバック
27 回	イベント POP 作成実践・フィードバック（お正月/クリスマス）
28 回	イベント POP 作成実践・フィードバック（セール）
29 回	イベント POP 作成実践・フィードバック（犬の日・猫の日）
30 回	イベント POP 作成実践・フィードバック（新規開店）
31 回	効果的なイベント開催法
32 回	後期振り返り
33 回	後期試験
34 回	後期試験返却
35 回	振り返り

じゅぎょう ほうほう 授業の方法
講義、実習

きょうざい 教材
なし

ひょうか ほうほう 評価の方法
きまつしけん 期末試験 80%、 しゅっせきりつ 平常点 20%（ しゅっせきりつ 出席率、 じゅぎょうたいど 授業態度等）

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう 授業外での学習方法
しよっぴいしよっぴーでの実践

じつむけいけん じゅぎょうかもく かんけい 実務経験と授業科目の関係
あり

生体管理学

(授業概要)

飼育棟や爬虫類の動物飼育実習を通して、就職に必要な動物のハンドリング方法や飼育管理方法を身につけると共に、動物のストレスを軽減させるために効率の良い作業方法を学ぶ。

科	生命科学科	きょういん 教 員	伊勢
コース	ショップゼミ	きょういん じつむけいけん 教 員 の 実 務 経 験	○
たいしょうねんじ 対 象 年 次	2 年	ねんかんたんいじかん 年 間 単 位 時 間	35 時間

もくひょう 目 標
1 学期 小動物のハンドリングや健康チェックを行いながら、ケージの掃除や飼育棟内の清掃を 50 分以内に終わらせ、効率の良い作業方法を習得する。
2 学期 小動物に加えて爬虫類のハンドリング、健康チェック方法もマスターし、爬虫類ならではのガラスケージなどの掃除方法も習得する。

じゅぎょうけいかく 授 業 計 画
1 学期
1 回 飼育棟実習
2 回 飼育棟実習
3 回 飼育棟実習
4 回 飼育棟実習
5 回 飼育棟実習
6 回 飼育棟実習
7 回 飼育棟実習
8 回 飼育棟実習
9 回 飼育棟実習
10 回 飼育棟実習
11 回 飼育棟実習
12 回 飼育棟実習
13 回 飼育棟実習
14 回 飼育棟実習
2 学期
15 回 飼育棟実習
16 回 飼育棟実習
17 回 前期試験

18回	前期試験返却
19回	飼育棟実習
20回	飼育棟実習
21回	飼育棟実習
22回	飼育棟実習
23回	飼育棟実習
24回	飼育棟実習
25回	飼育棟実習
26回	飼育棟実習
27回	飼育棟実習
28回	飼育棟実習
29回	飼育棟実習
30回	飼育棟実習
31回	飼育棟実習
32回	飼育棟実習
33回	後期試験
34回	後期試験返却
35回	飼育棟実習

じゅぎょう ほうほう 授業の方法
講義、実習

きょうざい 教材
カラーアトラス エキゾチックアニマル 哺乳類編・鳥類編

ひょうか ほうほう 評価の方法
きまつしけん 期末試験80%、出席率 20%

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう 授業外での学習方法
小動物のハンドリングや健康チェック

じつむけいけん じゅぎょうかもく かんけい 実務経験と授業科目の関係
あり

生体管理学(爬虫類)

(授業概要)

動物を扱う仕事（ペットショップ、動物保護スタッフ、ふれあい施設スタッフ）の上で必要な動物飼育方法を身につけるために、両生爬虫類エリアの両生爬虫類のハンドリング方法や健康チェック方法、動物のケージの掃除等を実際にやりながら学び、習得する。

科	生命科学科	教員	山内
コース	ショップゼミ	教員の実務経験	○
対象年次	2年	年間単位時間	35

目標

- 1 学期
- 両生爬虫類エリアの使い方や動物の特徴、飼育管理方法について学び、1つ1つの作業の必要性を理解した上で2時間以内に作業を終わらせる
- 2 学期
- グループ内でその日の目標と反省を行いながら作業をすすめ、自分の頭で考えながら飼育管理を行う。

授業計画

- 1 学期
- 1 回

飼育実習 A
- 2 回

飼育実習 B
- 3 回

飼育実習 A
- 4 回

飼育実習 B
- 5 回

飼育実習 A
- 6 回

飼育実習 B
- 7 回

飼育実習 A
- 8 回

飼育実習 B
- 9 回

飼育実習 A
- 10 回

飼育実習 B
- 11 回

飼育実習 A
- 12 回

飼育実習 B
- 13 回

飼育実習 A
- 14 回

飼育実習 B
- 15 回

飼育実習 A
- 16 回

飼育実習 B
- 17 回

前期試験
- 18 回

前期試験解説

2 学期

- 19 回 飼育実習 B
- 20 回 飼育実習 A
- 21 回 飼育実習 B
- 22 回 飼育実習 A
- 23 回 飼育実習 B
- 24 回 飼育実習 A
- 25 回 飼育実習 B
- 26 回 飼育実習 A
- 27 回 飼育実習 B
- 28 回 飼育実習 A
- 29 回 飼育実習 B
- 30 回 飼育実習 A
- 31 回 飼育実習 B
- 32 回 飼育実習 A
- 33 回 後期試験
- 34 回 後期試験解説
- 35 回 大掃除

授 業 の 方 法

講義、実演、実習

教 材

なし

評 価 の 方 法

期末試験80%、授業態度20%

授 業 外 で の 学 習 方 法

両生爬虫類Ⅱ、飼育用品概論Ⅱの復習

実務経験と授業科目の関係

経営概論

(授業概要)
経営の全体像や売上の具体的なあげ方等を理解する。また経営や意思決定をおこなっていくうえで、直面する諸事情に対応するためのバランス感覚を養う。

か 科	生命科学科	きょういん 教 員	橋本・津田
コース	ショップゼミ	きょういん じつむけいけん 教 員 の実務経験	○
たいしょうねんじ 対 象 年 次	2 年	ねんかんたんいじかん 年間単位時間	70 時間

もくひょう 目 標
1 学期 売上の成り立ちや売上に関わる言葉の意味、売上の具体的なあげ方を理解する。 人に信頼される接客方法や POP 作成をマスターし、売上向上につなげていく。
2 学期 マーケティングを学習し、それらを実践していくうえでの重要ポイントの網羅とそれぞれのポイントが有機的に連携する重要性を理解する。

じゅぎょうけいかく 授 業 計 画
1 回 経営学で学ぶこと・目的の説明/ペットビジネスとは
2 回 ペットビジネスの具体的職業と求められる人材像
3 回 売上のなりたち
4 回 売上に关わる言葉（客数）
5 回 売上に关わる言葉（客単価）
6 回 売上があがる仕組み/利益を出す仕組み
7 回 売上を上げるための接客の基本①所作
8 回 売上を上げるための接客の基本②接客用語
9 回 売上を上げるための接客の基本③所作と接客用語の実践
10 回 売上を上げるための接客の基本④言い換え
11 回 売上を上げるための接客の基本⑤実践
12 回 売上を上げるための接客の基本⑥実践
13 回 前期まとめ
14 回 前期復習
15 回 前期試験

16回	前期試験返却
17回	マーケティング（マーケティングの定義・コンセプト・要素）
18回	マーケティング（標的市場の設定と接近、顧客を分ける）
19回	マーケティング（標的市場の設定と接近、ターゲットと位置付け）
20回	マーケティング（製品、定義・概念、分類）
21回	マーケティング（製品、製品と経営戦略、PLC、計画的陳腐化）
22回	マーケティング（製品、プロダクトミックス、品揃えの意味）
23回	マーケティング（製品、ブランドの定義・機能・利点・戦略）
24回	マーケティング（製品、サービス、特性・成否をわけるもの）
25回	マーケティング（プロモーション、プロモーション戦略体系）
26回	マーケティング（プロモーション、広告の定義・意味）
27回	マーケティング（プロモーション、媒体戦略と表現戦略）
28回	マーケティング（プロモーション、PR、人的販売、販売促進）
29回	マーケティング（価格、価格設定のための WHO・WHAT・WHEN）
30回	マーケティング（価格、価格計画・価格政策）
31回	マーケティング（プレイス、流通チャネルの機能・戦略）
32回	後期復習
33回	後期試験
34回	後期試験返却
35回	振り返り

じゅぎょう ほうほう 授業の方法
講義、グループ活動

きょうざい 教材
なし

ひょうか ほうほう 評価の方法
きまつしけん 期末試験 80%、 じょうじょう 平常点 20%（ しゅっせきりつ 出席率、 じゅぎょうたいど 授業態度等）

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう 授業外での学習方法
しよっぴいしよっぴーの運営に役立てる

じつむけいけん じゅぎょうかもく かんけい 実務経験と授業科目の関係
あり

飼育用品概論 II

(授業概要)

ペットショップ・アニマルカフェなどの施設において生体管理をする上で使用する機材また道具の基本的な使用方法を学習する。また、メーカーごとの特徴や用品のアレンジ方法なども理解する。

か 科	生命科学科	きょういん 教 員	山内
コース	ショップゼミ	きょういん じつむけいけん 教 員 の実務経験	○
たいしょうねんじ 対 象 年 次	2 年	ねんかんとんいじかん 年 間 単 位 時 間	35

もくひょう
目 標

- 1 学期
- ペットショップで取り扱われていることが多い、爬虫類の飼育方法や機材の使用方法を理解し、校内の生体管理において実践できるようにする。
- 2 学期
- 生体ごとの望ましいレイアウト方法を理解し、メーカーごとの特徴を理解する。

じゅぎょうけいかく
授 業 計 画

- 1 学期
- 1 回 アイスブレイク

2 回 爬虫類とはどんな生き物か（昼行性）

3 回 爬虫類とはどんな生き物か（夜行性）

4 回 用品解説：ケージ①

5 回 用品解説：ケージ②

6 回 用品解説：シェルター①

7 回 用品解説：シェルター②

8 回 用品解説：トイレ

9 回 用品解説：運動器具

10 回 用品解説：遊び道具

11 回 用品解説：床材

12 回 用品解説：保温器具

13 回 用品解説：保冷器具

14 回 用品解説：ライト（紫外線）

15 回 用品解説：ライト（バスキング）

16 回 試験対策

17 回 前期試験

18 回 試験返却
- 2 学期

19回	メンテナンスについて（爪切り・温浴）
20回	用品解説：給水器、餌皿
21回	用品解説：フード（草食性）
22回	用品解説：フード（肉食・雑食性）
23回	用品解説：おやつ
24回	用品解説：サプリメント
25回	爬虫類の販売形態について
26回	系統とモルフについて①
27回	系統とモルフについて②
28回	ペット保険について
29回	爬虫類の病気と診察①
30回	爬虫類の病気と診察②
31回	ペット業界が抱える問題点
32回	試験対策
33回	後期試験
34回	試験返却
35回	授業振り返り

じゅぎょう ほうほう 授業の方法
座学

きょうざい 教材
なし

ひょうか ほうほう 評価の方法
きまつしけん じゅぎょうたいど 期末試験80%、授業態度20%

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう 授業外での学習方法
生体管理実習での生体管理

じつむけいけん じゅぎょうかもく かんけい 実務経験と授業科目の関係
あり